TEAP 受験上の配慮要項

2025年度 第2回

TEAPでは，障がい等のある方に受験上の配慮を行います。
受験上の配慮を希望する場合は，**受験申込と同時に「TEAP 受験上の配慮申請書」の提出が必要**となります。
「TEAP 受験上の配慮要項」並びに各障がいの「受験上の配慮 対応一覧」をご確認の上，必要書類を揃えてご申請ください。

公益財団法人 日本英語検定協会　TEAP運営事務局
TEL：03-3266-6556
※平日9:30～17:00（土・日・祝日を除く）

申請受付期間

２０２５年７月１４日（月）～ **２０２５年７月２３日（水） 必着**

- 試験実施環境の設定，試験資材の用意が必要なため，原則として期限を過ぎた申請については対応いたしかねます。

申請時の注意

- **障害程度等級の有無などにより，申請できる配慮の内容が異なります。詳しくは「受験上の配慮 対応一覧」をご確認ください。**
- 申請後の申請内容の変更はできません。
- 配慮内容によっては同一地域の別会場での受験をお願いすることがあります。
- 一部の技能が免除になった場合も受験料は減額されませんのでご了承ください。
- 試験監督者は移動や試験の補助のみ行います。
  トイレや体位固定などに介助が必要な方は，介助者をご自身で確保し，申請してください。
- 本申請を行った時点で、協会が要配慮個人情報を取得することに同意したものとみなします。
  なお、取得した要配慮個人情報は、受験上の配慮を行うことを目的としており、その他の目的のための利用は一切ありません。

申請方法

- インターネットでTEAPの受験申込を行った上で，上記申請受付期間内（締日必着）に書類一式の提出が必要です。

提出書類

① TEAP受験上の配慮申請書
② 「障がい等に応じた『障害手帳』のコピー」か「配慮が必要な理由が書かれている医師の診断書」 等　※
③ 状況報告書　…一部の配慮で必要です。左記書類が必要な配慮には対応一覧と申請書に「★」印がついています。　※
　※年度の切り替わり後1回目の受験の場合は，必ず提出が必要です。診断書と状況報告書の有効期限は発行日から1年間です。
　※年度内に診断書等を提出して配慮を受けた方で，TEAP IDと配慮内容に変更がない場合は、診断書等と状況報告書の再提出は不要です。
　※年度内であっても，TEAP IDを変更した場合や、配慮内容を変更する場合は，再度すべての書類を提出してください。
　※申請内容により，追加書類の提出をお願いする場合があります。
　※上記以外の書類の提出を考えている方は，TEAP運営事務局（03-3266-6556）にお問い合わせください。

提出方法

- 提出書類をすべてそろえた上で，公益財団法人 日本英語検定協会 TEAP受験上の配慮係（〒162-8055 東京都新宿区横寺町55）に簡易書留郵便により送付してください。

個人情報の取り扱いについて

1. 協会の個人情報の取り扱いについては「個人情報保護方針」をご覧ください。　個人情報保護方針 https://www.eiken.or.jp/privacypolicy/
2. 当テストの申込者および受験者の個人情報は，法令に基づく場合を除き，TEAP受験規約に示された【個人情報の利用目的】のために利用し，それ以外の目的に利用する場合は申込者または受験者の同意を得た上で行います。なお，統計資料等については，個人が特定できないよう加工した上での学会発表，パンフレット等において利用いたします。
3. 当テスト申込者または受験者の個人情報は，業務運営に際し，必要最小限の範囲で委託先に委託することがあります。
4. 受験者の成績結果等の個人情報は，大学等の受験に必要な範囲において，当該大学等の依頼に基づき，協会から当該大学等へ提供されることがあります。この場合，TEAP受験規約への同意をもって，当該個人情報を大学等へ提供することに同意したものとみなします。
5. 申込者または受験者の個人情報の協会への提供は，受験者の任意ですが，必要な情報が提供されない場合は，当テストの受験，採点処理，成績結果の発行，当該個人情報の大学等への提供ができない場合があります。その際，協会は何らの責任を負いません。

切手
貼付欄

〒１６２－８０５５

東京都　新宿区　横寺町　五五

公益財団法人　日本英語検定協会

TEAP受験上の配慮係　行

受験上の配慮申請書　在中

簡易書留郵便

キリトリ線

以下にチェックをしてください

☐ 申請に必要な書類はすべて同封しました

受験番号
ハイフンなし
左詰めで記入

↑郵送の際，切り取ってご利用ください

TEAP Test of English for Academic Purposes

目　次

障がいの分類	対応一覧・申請書	ページ
TEAP 受験上の配慮要項		・・・P. 1
TEAP 受験上の配慮　受験の流れ		・・・P. 3
視覚障がい	視覚障がい　受験上の配慮対応一覧	・・・P. 4
	【視覚障がい】受験上の配慮申請書	・・・P. 6
聴覚障がい	聴覚障がい　受験上の配慮対応一覧	・・・P. 7
	【聴覚障がい】受験上の配慮申請書	・・・P. 8
	状況報告書（リスニングテスト免除）	・・・P. 9
	状況報告書（スピーキングテスト免除）	・・・P. 10
肢体不自由	肢体不自由　受験上の配慮対応一覧	・・・P. 11
	【肢体不自由】受験上の配慮申請書	・・・P. 13
	状況報告書（ライティングテスト免除）	・・・P. 14
病弱・その他	病弱・その他　受験上の配慮対応一覧	・・・P. 15
	【病弱・その他】受験上の配慮申請書	・・・P. 18
	状況報告書（時間延長）	・・・P. 19
	状況報告書（別室 時間延長なし）	・・・P. 20
	状況報告書（スピーキングテスト免除）	・・・P. 21

TEAP 受験上の配慮　受験の流れ

受験申込

●インターネットからお申込みを行います。
▼受験者情報の入力の際，「受験上の配慮を申請する」のチェックボックスにチェックしてください。
※申請期間内であっても，システムの都合上，チェックできない場合があります。
チェックできない時はTEAP運営事務局（03-3266-6556）にお問い合わせください。

受験番号の確認

●受験申込が完了すると受験番号が発行されますので，TEAPウェブサイトにログイン後，ご自身で確認してください。

※配慮内容によってはお申込みの会場から変更となる場合があります。後日郵送される「TEAP受験上の配慮内容決定通知書」をご確認ください。

受験上の配慮申請準備

●TEAPウェブサイトより「TEAP受験上の配慮要項・申請書」をダウンロードし，「TEAP受験上の配慮申請書」の必要事項を記入してください。

●希望する配慮を申請するのに必要な，障がいの程度を証明する書類を準備してください。
・障害手帳のコピー
・医師の診断書　等

受験上の配慮申請

●インターネット申込を行った上で申請受付期間内（締日必着）にTEAP受験上の配慮係に必要申請書類一式
◇受験上の配慮申請書
◇障害手帳のコピー
医師の診断書　等
◇状況報告書　※一部の配慮
を簡易書留郵便にて送付してください。
※受験上の配慮要項に簡易書留郵便用の宛名が記載されていますので，切り取ってご利用ください。

受験上の配慮内容決定通知書の受領

●配慮内容決定後，協会より「TEAP受験上の配慮内容決定通知書」をお送りします。
試験時間・試験会場の記載が受験票と異なる場合は，「TEAP受験上の配慮内容決定通知書」の内容を正とします。

※受領後すみやかに開封し，内容に問題がないか確認してください。

試験当日

●「受験票」，「TEAP受験上の配慮内容決定通知書」，「有効期限内の顔写真つき身分証明書」をご用意の上，試験会場にご来場ください。

●入口付近に設置される「総合案内」にて，受験上の配慮申請者である旨を必ず申し出てください。

試験結果受領

●試験結果はTEAPウェブサイトにてご確認いただけます。公開日は受験技能により異なります。

●紙の成績表は試験後約５週間で発送します。
※ 技能が免除された場合，成績表に配慮内容と免除技能が記載されます。
※ 免除となった技能については試験結果をハイフン（″－″）で表示します。

大学への出願

●志望大学へ出願手続きを行ってください。
※入学を志望する大学の個別の入学試験や入学後の対応等については，志望する大学に事前に相談してください。

●成績データは協会から各大学に提供されます。
※技能が免除された場合，成績データに結果がハイフン（″－″）で表示されます。
※配慮内容と免除技能は通知されません。ご自身で大学にご申告ください。

TEAP Test of English for Academic Purposes

視覚障がい

受験上の配慮　対応一覧

受験上の配慮の対象者	Reading/Listening共通		Reading		Listening		許可事項
	受験上の配慮の内容 形式	試験教室	特記事項	試験時間	特記事項	試験時間	
点字による教育を受けている方	**【点字】** 点字（2級点字（縮約使用））の問題冊子を使用して受験し，点字用解答用紙に解答する方法です。 ※統一英語点字（UEB）を使用しています。	別室	●時間延長 ●【Part２Ａ　図表の読み取り】 困難の度合いを考慮し，表・数値・グラフ等で出題します。 ●【Part３Ｂ　長い英文の読み取り（図表も含む）】 困難の度合いを考慮し，表・数値・グラフ等で出題します。	120分	●解答時間　延長 （通常１０秒→２０秒） ●【Part１Ｃ　図表の理解と組み合わせた英文の聞き取り】（５問） 免除 ●【Part２Ｂ　長い英文の聞き取り（図表も含む）】 困難の度合いを考慮し，表・数値・グラフ等で出題します。	約55分	●点字機器の持参使用（点字盤／パーキンス） ●ルーペ・拡大機器等の持参使用 ●照明機器等の持参使用 ●触知時計の持参使用 ●介助者の同伴（試験中は除く） ●乗用車での来場
障害等級が6級程度より重度の視覚に障がい等のある方	**【拡大墨字A3】** 弱視用のA3問題冊子（25Pゴシック系文字）を使用して受験し，A3の拡大文字解答用紙に解答番号を書き込む方法です。 **【普通墨字A4】** 弱視用のA4問題冊子（18Pゴシック系文字）を使用して受験し，A4の文字解答用紙に解答番号を書き込む方法です。 **【オプチスコープ】** 弱視用の普通墨字A4問題冊子（18Pゴシック系文字）をオプチスコープで拡大して受験し，直接問題冊子に〇をつけて解答する方法です。 ※機器は受験者ご自身（介助者を含む）で用意，持込，設営，撤収を行っていただきます。						
上記以外の視覚に障がい等のある方	**【文字解答】** 他の受験者と同様に通常問題冊子を使用して受験しますが，マークシートではなく，文字解答用紙に解答番号を書き込む方法です。	一般同室	－	通常（70分）	－	通常（約50分）	

TEAP Test of English for Academic Purposes

視覚障がい

受験上の配慮　対応一覧

受験上の配慮の対象者	Writing				Speaking				許可事項
	受験上の配慮の内容		試験教室	試験時間	受験上の配慮の内容		試験教室	試験時間	
	形式	特記事項			形式	特記事項			
点字による教育を受けている方	【点字】 点字（2級点字（縮約使用））の問題冊子を使用して受験し，点字用解答用紙に解答する方法です。 ※統一英語点字（UEB）を使用しています。	●時間延長 ●問題文中の図表については，困難の度合いを考慮し，グラフまたは数値化等で出題します。	別室	90分	【点字】 点字（2級点字（縮約使用））のトピックカードを使用して受験します。 ※統一英語点字（UEB）を使用しています。	●点字受験者心得を用意します。	一般同室 （優先受験）	●トピックカードの読み取り時間の延長	●点字機器の持参使用（点字盤／パーキンス） ●ルーペ・拡大機器等の持参使用 ●照明機器等の持参使用 ●触知時計の持参使用 ●介助者の同伴（試験中は除く） ●乗用車での来場
障害等級が6級程度より重度の視覚に障がい等のある方	【拡大墨字A3】 弱視用のA3問題冊子（25Pゴシック系文字）を使用して受験し，A3の拡大文字解答用紙に解答を書き込む方法です。				【拡大墨字A3】 25Pゴシック系文字を使用した拡大トピックカードで受験します。	●拡大墨字受験者心得を用意します。			
	【普通墨字A4】 弱視用のA4問題冊子（18Pゴシック系文字）を使用して受験し，A4の文字解答用紙に解答を書き込む方法です。				【普通墨字A4】 18Pゴシック系文字を使用したトピックカードで受験します。	●普通墨字受験者心得を用意します。			
	【オプチスコープ】 弱視用の普通墨字A4問題冊子（18Pゴシック系文字）をオプチスコープで拡大して受験し，A3の拡大文字解答用紙に解答を書き込む方法です。 ※機器は受験者ご自身（介助者を含む）で用意，持込，設営，撤収を行っていただきます。				【オプチスコープ】 通常のトピックカードをオプチスコープで拡大して受験します。 ※機器は受験者ご自身（介助者を含む）で用意，持込，設営，撤収を行っていただきます。	●普通墨字受験者心得を用意します。	別室 ※機器設置・撤収のため （優先受験）		
上記以外の視覚に障がい等のある方	【文字解答】 他の受験者と同様に通常問題冊子を使用し，解答を文字解答用紙に書き込む方法です。	－	一般同室	通常 （70分）	【優先受験】 受験者の困難の度合いを考慮し，優先的に面接室への案内・受験を行う配慮です。 スピーキングテストの実施方法，採点方法は通常通りです。	－	一般同室 （優先受験）	通常 （約10分）	

ご記入後はコピーを取り，必ず控えを残してください

TEAP Test of English for Academic Purposes

視覚障がい　2025年度 第2回　TEAP　受験上の配慮申請書

2025年7月23日（水）必着

ﾌﾘｶﾞﾅ			受験番号				－				－					
氏　名			受験会場													

問合せ先電話番号	

→　問合せ先が受験者本人ではない場合は，ご氏名と受験者との関係をご記入ください。

氏名：　　受験者との関係：

■　申請する配慮　（✓ をつけ，必要に応じて特記事項を記入）　　※リスニングテストで図表問題が免除された場合，成績表に配慮内容と免除パートが記載されます。

障害等級		申請する配慮					機器の持参使用
		時間配慮	Reading	Listening	Writing	Speaking	
あり	視覚	時間延長	✓ 点　字	⇒ 点　字	⇒ 点　字	⇒ 点　字	✓ 点字盤
			✓ 拡大墨字　A3	⇒ 拡大墨字　A3	⇒ 拡大墨字　A3	✓ 拡大墨字　A3	✓ パーキンス
			✓ 普通墨字　A4	⇒ 普通墨字　A4	⇒ 普通墨字　A4	✓ 普通墨字　A4	✓ ルーペ・拡大機器
	等級		✓ オプチスコープ	⇒ オプチスコープ	⇒ オプチスコープ	✓ オプチスコープ	✓ オプチスコープ
							✓ 照明機器
							✓ 触知時計
上記以外の視覚障がい		延長なし	✓ 文字解答	⇒ 文字解答	⇒ 文字解答	⇒ 優先受験	希望する配慮
特記事項							✓ 介助者の同伴（試験中は除く）
							✓ 乗用車での来場
							⇒「車種」「車輌No.（地域を含めた全て）」を特記事項に記載

TEAP Test of English for Academic Purposes

聴覚障がい

受験上の配慮　対応一覧

受験上の配慮の対象者	Reading 受験上の配慮の内容 形式	Reading 受験上の配慮の内容 特記事項	Reading 試験教室	Reading 試験時間	Listening 受験上の配慮の内容 形式	Listening 受験上の配慮の内容 特記事項	Listening 試験教室	Listening 試験時間	許可事項
障害等級が6級程度より重度の聴覚に障がい等がある方	【座席配置】 リスニングテストの座席配置配慮のため，スピーカー近くに座席を配席して受験します。 ※強音放送のみ	●受験者心得を文字で提供します。	別室	通常 (70分)	【リスニングテスト免除】★ 困難の度合いを考慮し，リスニングテストを免除します。	－	－	－	●補聴器等の使用
					【強音放送】 リスニングテストを別室にてボリュームを上げて受験します。	－	別室	通常 (約50分)	
上記以外の聴覚に障害等のある方	【座席配置】 リスニングテストの座席配置配慮のため，スピーカー近くに座席を配席して受験します。	－	一般同室	通常 (70分)	【座席配置】 スピーカー近くに座席を配席して受験します。	－	一般同室	通常 (約50分)	

受験上の配慮の対象者	Writing 受験上の配慮の内容 形式	Writing 受験上の配慮の内容 特記事項	Writing 試験教室	Writing 試験時間	Speaking 受験上の配慮の内容 形式	Speaking 受験上の配慮の内容 特記事項	Speaking 試験教室	Speaking 試験時間	許可事項
障害等級が6級程度より重度の聴覚に障がい等がある方	【座席配置】 リスニングテストの座席配置配慮のため，スピーカー近くに座席を配席して受験します。 ※強音放送のみ	●受験者心得を文字で提供します。	別室	通常 (70分)	【スピーキングテスト免除】★ 困難の度合いを考慮し，スピーキングテストを免除します。	－	－	－	●補聴器等の使用
					【FC＋口話】 Examinerからの指示・質問およびPart２でのロールプレイでは，英文が書かれたフラッシュカード（FC）を提示します。受験者は口頭で応答・発問します。	●受験者心得を文字で提供します。	一般同室 （優先受験）	フラッシュカード提示のため，通常時間よりは長くなります。	
上記以外の聴覚に障害等のある方	【座席配置】 リスニングテストの座席配置配慮のため，スピーカー近くに座席を配席して受験します。	－	一般同室	通常 (70分)	【口話】 初めに聞こえ具合を確認し，大きめの声で行います。 スピーキングテストの実施方法，採点方法は通常通りです。	－	一般同室 （優先受験）	通常 （約10分）	

ご記入後はコピーを取り，必ず控えを残してください

TEAP Test of English for Academic Purposes

聴覚障がい　2025年度 第2回　TEAP　受験上の配慮申請書

2025年7月23日（水）必着

ﾌﾘｶﾞﾅ			受験番号				－				－				
氏　名			受験会場												

問合せ先電話番号	

→　問合せ先が受験者本人ではない場合は，ご氏名と受験者との関係をご記入ください。

氏名：　　受験者との関係：

※技能が免除された場合，成績表に配慮内容と免除技能が記載されます。
※免除となった技能については試験結果をハイフン「－」で表示します。

■　申請する配慮　（✓ をつけ，必要に応じて特記事項を記入）

障害等級		申請する配慮					機器の持参使用
		時間配慮	Reading	Listening	Writing	Speaking	
あり	聴覚　等級	配慮なし	・座席配置☆	✓免除★ ✓強音放送☆	⇒座席配置☆	✓免除★ ✓FC＋口話	✓補聴器 ✓FMマイク付き補聴器
上記以外の聴覚障がい		配慮なし	・座席配置☆	✓座席配置☆	⇒座席配置☆	✓口話 ✓一般と同一	
特記事項							★マークがついている配慮については，「状況報告書」の添付が必要です。配慮の適用可否は，審査の上，判断します。 ☆「強音放送」「座席配置」を希望する方は障がいの程度と“右耳失聴，左耳難聴”等のコメントを特記事項に記入してください。

ご記入後はコピーを取り，必ず控えを残してください

TEAP Test of English for Academic Purposes

聴覚障がい

状況報告書（リスニングテスト免除）

2025年7月23日（水）必着

ﾌﾘｶﾞﾅ		
氏　名		

受験番号				－				－					

記入について	○この報告書は，リスニングテストの免除を申請するにあたり，受験者の高等学校等でのリスニングの学習状況や，リスニングテスト（学内試験等）の実施状況等を具体的に記入していただくもので，受験上の配慮に対する意見や要望等を記入する書類ではありません。 ▼高等学校に在籍中の受験者　⇒高等学校の担当者（学級担任等）が記入してください。 ▼高等学校等に在籍していない受験者 1. 外部教育機関（予備校等）に所属しており，配慮を受けている場合　⇒外部教育機関のカウンセラー等，支援担当者が記入してください。 2. 高等学校等で配慮を受けていた者で，申請時に外部教育機関（予備校等）に所属していない場合，外部教育機関（予備校等）で配慮を受けていない場合　⇒保護者等が，状況及び専門家等による所見を可能な範囲で記入してください。

リスニングの授業についてお知らせください。		リスニングテストについてお知らせください。		詳細記入欄
✓	授業を通常どおり受けている。	✓	テストを通常どおり受けている。	（授業またはテストで配慮を行っているとご回答いただいた場合は，学校での対応を具体的に記入してください）
✓	授業を受ける時に配慮を行っている。	✓	テストを受ける時に配慮を行っている。	
✓	リスニングを伴う授業を免除している。	✓	リスニングテストを免除している。	
✓	リスニングの授業が無い。	✓	リスニングテストが無い。	

上記記載内容に相違ありません。　　記入日：　　年　　月　　日

記入者署名：　　㊞　　受験者との関係：

ご記入後はコピーを取り，必ず控えを残してください

TEAP Test of English for Academic Purposes

聴覚障がい　状況報告書（スピーキングテスト免除）

2025年7月23日（水）必着

ﾌﾘｶﾞﾅ		
氏　名		

受験番号				－				－					

記入について	○この報告書は，スピーキングテストの免除を申請するにあたり，受験者の高等学校等でのスピーキングの学習状況や，スピーキングテスト（学内試験等）の実施状況等を具体的に記入していただくもので，受験上の配慮に対する意見や要望等を記入する書類ではありません。 ○音声言語障がいによりスピーキング免除を申請する場合は，「病弱・その他」の状況報告書をご提出ください。 ▼高等学校に在籍中の受験者　⇒高等学校の担当者（学級担任等）が記入してください。 ▼高等学校等に在籍していない受験者 1. 外部教育機関（予備校等）に所属しており，配慮を受けている場合　⇒外部教育機関のカウンセラー等，支援担当者が記入してください。 2. 高等学校等で配慮を受けていた者で，申請時に外部教育機関（予備校等）に所属していない場合，外部教育機関（予備校等）で配慮を受けていない場合　⇒保護者等が，状況及び専門家等による所見を可能な範囲で記入してください。

スピーキングの授業についてお知らせください。		スピーキングテストについてお知らせください。		詳細記入欄
✓	授業を通常どおり受けている。	✓	テストを通常どおり受けている。	（授業またはテストで配慮を行っているとご回答いただいた場合は，学校での対応を具体的に記入してください）
✓	授業を受ける時に配慮を行っている。	✓	テストを受ける時に配慮を行っている。	
✓	学生の発話を伴う授業を免除している。	✓	学生の発話を伴うテストを免除している。	
✓	学生の発話を伴う授業が無い。	✓	学生の発話を伴うテストが無い。	

上記記載内容に相違ありません。　　記入日：　　年　　月　　日

記入者署名：　　㊞　　受験者との関係：

TEAP Test of English for Academic Purposes

肢体不自由

受験上の配慮　対応一覧

受験上の配慮の対象者	Reading/Listening共通		Reading		Listening		許可事項
	受験上の配慮の内容 形式	試験教室	特記事項	試験時間	特記事項	試験時間	
障害等級が4級程度より重度の上肢に障がい等がある方で書字ができないまたは著しく困難な方	【口述解答】 上肢が不自由なため自力での解答が困難な場合に，受験者が口述した解答の選択肢を試験監督者がマークシートに転記する方法です。	別室	－	通常 （70分）	－	通常 （約50分）	●机の持参使用 ●車椅子の持参使用 ●介助者の同伴 （試験中は除く） ●乗用車での来場
	【チェック解答（時間延長あり）】 マークシートではなく問題冊子に直接〇をつけて解答する方法です。 問題冊子は事前申告にあわせ，拡大（A3）と普通（A4）の内，どちらかを使用します。	別室	●時間延長	105分	●解答時間延長 （通常１０秒→２０秒）	約60分	
上記以外の上肢に障がい等のある方	【チェック解答（時間延長なし）】 マークシートではなく問題冊子に直接〇をつけて解答する方法です。 問題冊子は事前申告にあわせ，拡大（A3）と普通（A4）の内，どちらかを使用します。	一般同室	－	通常 （70分）	－	通常 （約50分）	
下肢または体幹機能に障がい等のある方	【一般と同一】 試験会場内での移動や座席の配置に配慮します。 ※会場設備により別室受験となる場合があります。	一般同室 又は 別室	－	通常 （70分）	－	通常 （約50分）	

TEAP Test of English for Academic Purposes

肢体不自由

受験上の配慮　対応一覧

受験上の配慮の対象者	Writing 受験上の配慮の内容 形式	Writing 受験上の配慮の内容 特記事項	Writing 試験教室	Writing 試験時間	Speaking 受験上の配慮の内容 形式	Speaking 受験上の配慮の内容 特記事項	Speaking 試験教室	Speaking 試験時間	許可事項
障害等級が4級程度より重度の上肢に障がい等がある方で書字ができないまたは著しく困難な方	【ライティングテスト免除】★ 困難の度合いを考慮し，ライティングテストを免除します。	－	－	－	【優先受験】 受験者の困難の度合いを考慮し，優先的に面接室への案内・受験を行う配慮です。 スピーキングテストの実施方法，採点方法は通常通りです。	－	一般同室 （優先受験）	通常 （約10分）	●机の持参使用 ●車椅子の持参使用 ●介助者の同伴 （試験中は除く） ●乗用車での来場 ●キーボードの持参使用 ●マウスの持参使用
	【拡大解答用紙への解答】 拡大解答用紙に解答する方法です。 解答用紙は事前申告にあわせ，拡大(A3)と普通(A4)の内，どちらかを使用します。	●時間延長 ●問題冊子は通常のものを使用します。	別室	105分					
	【タブレットPCによる解答】♦ 上肢が不自由なため自書が困難な場合に，協会が準備するタブレットPCを用いて，テキスト文書を作成して解答する方法です。 機器の確認・同意書提出のうえ，審査が必要です。 ※タブレットPCにはタッチペンが付属しています。 ※Wordなどの文章作成ソフトは使用できません。	●時間延長 ●事前申請により許可 ・キーボード持込 ・マウス持込 USB差込口は1つです。 ※個人PCの持込不可。 ソフトウェアのインストール不可。	別室	105分					
上記以外の上肢に障がい等のある方	【拡大解答用紙への解答】 拡大解答用紙に解答する方法です。 解答用紙は事前申告にあわせ，拡大(A3)と普通(A4)の内，どちらかを使用します。	●問題冊子は通常のものを使用します。	一般同室	通常 （70分）					
下肢または体幹機能に障がい等のある方	【一般と同一】 試験会場内での移動や座席の配置に配慮します。 ※会場設備により別室受験となる場合があります。	－	一般同室 又は 別室	通常 （70分）					

ご記入後はコピーを取り，必ず控えを残してください

TEAP Test of English for Academic Purposes

肢体不自由　2025年度 第2回　TEAP　受験上の配慮申請書　2025年7月23日（水）必着

フリガナ			受験番号				－				－				
氏名			受験会場												

問合せ先電話番号	

→ 問合せ先が受験者本人ではない場合は，ご氏名と受験者との関係をご記入ください。

氏名：　　受験者との関係：

■ 申請する配慮　（✓ をつけ，必要に応じて特記事項を記入）

※技能が免除された場合，成績表に配慮内容と免除技能が記載されます。
※免除となった技能については試験結果をハイフン「－」で表示します。

障がいの状況		申請する配慮					希望する配慮
		時間配慮	Reading	Listening	Writing	Speaking	
等級あり	上肢 等級	延長なし	✓ 口述解答（代筆）	⇒ 口述解答（代筆）	✓ 免除 ★ ✓ タブレットPC解答♦	⇒ 優先受験	✓ 机の持参使用 ✓ 介助者の同伴（試験中は除く） ✓ 乗用車での来場 ⇒「車種」「車輌No.（地域を含めた全て）」を特記事項に記載 ✓ キーボードの持参使用♦ ✓ マウスの持参使用♦ ✓ その他⇒特記事項に記載
		時間延長	✓ チェック解答 拡大A3	⇒ チェック解答 拡大A3	⇒ 拡大解答用紙A3	⇒ 優先受験	
			✓ チェック解答 普通A4	⇒ チェック解答 普通A4	⇒ 普通解答用紙A4		
上記以外の上肢障がい		延長なし	✓ チェック解答 拡大A3	⇒ チェック解答 拡大A3	⇒ 拡大解答用紙A3	⇒ 優先受験	
			✓ チェック解答 普通A4	⇒ チェック解答 普通A4	⇒ 普通解答用紙A4		
下肢障がい 体幹機能障がい		独歩可能（杖の使用などを含む）	✓ 一般と同一（誘導・試験教室等の配慮）			⇒ 優先受験	★マークの配慮は，「状況報告書」の添付が必要です。配慮の適用可否は，審査の上，判断します。 ♦マークの配慮は，受験上の配慮申請必着日までにPC使用同意書の提出と持込機器の申請が必要（受験上の配慮申請書提出後に協会より書式を送付）
		車椅子利用	✓ ● 歩行困難な受験者にはエレベーター設備のある会場または1階に試験室のある会場を指定します。 ● 車椅子使用の受験者は座席配置を考慮します。				
特記事項							

ご記入後はコピーを取り，必ず控えを残してください

TEAP Test of English for Academic Purposes

肢体不自由

状況報告書（ライティングテスト免除）

2025年7月23日（水）必着

ﾌﾘｶﾞﾅ		
氏　名		

受験番号				－				－					

記入について	○この報告書は，ライティングテストの免除を申請するにあたり，受験者の高等学校等での学習状況や，テスト（学内試験等）の実施状況等を具体的に記入していただくもので，受験上の配慮に対する意見や要望等を記入する書類ではありません。 ▼高等学校に在籍中の受験者　⇒高等学校の担当者（学級担任等）が記入してください。 ▼高等学校等に在籍していない受験者 1. 外部教育機関（予備校等）に所属しており，配慮を受けている場合　⇒外部教育機関のカウンセラー等，支援担当者が記入してください。 2. 高等学校等で配慮を受けていた者で，申請時に外部教育機関（予備校等）に所属していない場合，外部教育機関（予備校等）で配慮を受けていない場合　⇒保護者等が，状況及び専門家等による所見を可能な範囲で記入してください。

「長文を書く」授業の学習方法についてお知らせください。 ※英語の授業に限りません。		「長文を書く」テストの解答方法についてお知らせください。 ※英語のテストに限りません。	
✓	配慮を行っている。	✓	配慮を行っている。
✓	配慮を行っていない。	✓	配慮を行っていない。
✓	「長文を書く」授業が無い。	✓	「長文を書く」テストが無い。

詳細記入欄

（授業またはテストで配慮を行っているとご回答いただいた場合は，学校での対応を具体的に記入してください）

上記記載内容に相違ありません。　　記入日：　　年　　月　　日

記入者署名：　　㊞　　受験者との関係：

TEAP Test of English for Academic Purposes

病弱・その他

受験上の配慮　対応一覧

受験上の配慮の対象者	Reading/Listening共通			Reading		Listening		許可事項
	受験上の配慮の内容 形式		試験教室	特記事項	試験時間	特記事項	試験時間	
病弱	【一般と同一】 試験会場内での移動や座席の配置に配慮します。 ※会場設備により別室受験となる場合があります。		一般同室 又は 別室	－	通常 （70分）	－	通常 （約50分）	●机の持参使用 ●車椅子の持参使用 ●介助者の同伴 （試験中は除く） ●トイレに近い試験教室での受験 ●乗用車での来場
	【別室（時間延長なし）★】 受験者の状況により必要と判断された場合は別室での受験を設定します。 試験方法は一般と同一です。		別室	－	通常 （70分）	－	通常 （約50分）	
発達障がい その他	【座席配置】 受験者の状況により教室内での座席を予め設定します。試験方法は一般と同一です。	●解答方法 チェック解答を希望する場合は，申請書の「特記事項」欄にその旨を記載してください。問題冊子は事前申告にあわせ，拡大（A3）と普通（A4）の内，どちらかを使用します。	一般同室	－	通常 （70分）	－	通常 （約50分）	●介助者の同伴 （試験中は除く） ●トイレに近い試験教室での受験 ●乗用車での来場
	【時間延長★】 学習障がい等により必要と判断された場合は，試験時間を延長し，別室での受験を設定します。 技能別に申請できます。		別室	●時間延長	105分	●解答時間延長 （通常10秒⇒20秒）	約60分	
	【別室（時間延長なし）★】 受験者の状況により必要と判断された場合は別室での受験を設定します。試験方法は一般と同一です。		別室	－	通常 （70分）	－	通常 （約50分）	

★マークがついている配慮については，「状況報告書」の添付が必要です。配慮の適用可否については，審査の上，判断します。

TEAP Test of English for Academic Purposes

病弱・その他

受験上の配慮　対応一覧

受験上の配慮の対象者	Writing 受験上の配慮の内容 形式	Writing 受験上の配慮の内容 特記事項	Writing 試験教室	Writing 試験時間	Speaking 受験上の配慮の内容 形式	Speaking 受験上の配慮の内容 特記事項	Speaking 試験教室	Speaking 試験時間	許可事項
病弱	**【一般と同一】** 試験会場内での移動や座席の配置に配慮します。 ※会場設備により別室受験となる場合があります。	－	一般同室 又は 別室	通常 （70分）	**【優先受験】** 受験者の困難の度合いを考慮し，優先的に面接室への案内・受験を行う配慮です。 スピーキングテストの実施方法，採点方法は通常通りです。	－	一般同室 （優先受験）	通常 （約10分）	●机の持参使用 ●車椅子の持参使用 ●介助者の同伴 （試験中は除く） ●トイレに近い試験教室での受験 ●乗用車での来場
	【別室（時間延長なし）★】 受験者の状況により必要と判断された場合は別室での受験を設定します。試験方法は一般と同一です。	－	別室	通常 （70分）					
発達障がい その他	**【座席配置】** 受験者の状況により教室内での座席を予め設定します。試験方法は一般と同一です。	●解答方法 マークシート以外での解答方法を希望する場合は，申請書の「特記事項」欄にその旨を記載してください。解答用紙は事前申告にあわせ，拡大(A3)と普通(A4)の内，どちらかを使用します。	一般同室	通常 （70分）	**【優先受験】** 受験者の困難の度合いを考慮し，優先的に面接室への案内・受験を行う配慮です。 スピーキングテストの実施方法，採点方法は通常通りです。	－	一般同室 （優先受験）	通常 （約10分）	●介助者の同伴 （試験中は除く） ●トイレに近い試験教室での受験 ●乗用車での来場
	【時間延長★】 学習障がい等により必要と判断された場合は，試験時間を延長し，別室での受験を設定します。 技能別に申請できます。		別室	105分					
	【別室（時間延長なし）★】 受験者の状況により必要と判断された場合は別室での受験を設定します。試験方法は一般と同一です。		別室	通常 （70分）					

★マークがついている配慮については，「状況報告書」の添付が必要です。審査の上，配慮の適用可否を判断します。

TEAP Test of English for Academic Purposes

病弱･その他

受験上の配慮　対応一覧

受験上の配慮の対象者	Reading/Listening/Writing	Speaking				許可事項
	受験上の配慮の内容	受験上の配慮の内容		試験教室	試験時間	
	形式	形式	特記事項			
器質性・運動障がい性等のある方	通常受験	**【スピーキングテスト免除★】** 受験者の困難の度合いを考慮し，スピーキングテストを免除します。	－	－	－	●介助者の同伴（試験中は除く）
		【発話への配慮】 話が詰まる，大きな声が出ないなどの状況をExaminerに伝え，注意して聞くよう配慮します。 スピーキングテストの実施方法，採点方法は通常通りです。※各パートには制限時間があります。	－	一般同室（優先受験）	通常（約10分）	
吃音その他	通常受験	**【発話への配慮】** 話が詰まる，大きな声が出ないなどの状況をExaminerに伝え，注意して聞くよう配慮します。 スピーキングテストの実施方法，採点方法は通常通りです。※各パートには制限時間があります。	－	一般同室（優先受験）	通常（約10分）	

★マークがついている配慮については，「状況報告書」の添付が必要です。審査の上，配慮の適用可否を判断します。

ご記入後はコピーを取り，必ず控えを残してください

TEAP Test of English for Academic Purposes

病弱・その他　2025年度 第2回　TEAP　受験上の配慮申請書

2025年7月23日（水）必着

フリガナ			受験番号				－				－				
氏名			受験会場												

問合せ先電話番号	

→ 問合せ先が受験者本人ではない場合は，ご氏名と受験者との関係をご記入ください。

氏名：　　受験者との関係：

■ 申請する配慮　（✓ をつけ，必要に応じて特記事項を記入）

※技能が免除された場合，成績表に配慮内容と免除技能が記載されます。
※免除となった技能については試験結果をハイフン「－」で表示します。

障がいの状況		申請する配慮 Reading	Listening	Writing	Speaking	希望する配慮
病弱	等級なし	✓ 一般と同一（誘導・試験教室等の配慮）	⇒ 一般と同一（誘導・試験教室等の配慮）	⇒ 一般と同一（誘導・試験教室等の配慮）	⇒ 優先受験	✓ 乗用車での来場 ⇒「車種」「車輌No.（地域を含めた全て）」を特記事項に記載
		✓ 別室（時間延長なし）★	⇒ 別室（時間延長なし）★	⇒ 別室（時間延長なし）★		
発達障がい その他	等級あり（　　）級	✓ 座席指定 ☆	⇒ 座席指定	⇒ 座席指定	⇒ 優先受験	✓ 介助者の同伴（試験中は除く）
		✓ 時間延長 ★	✓ 時間延長 ★	✓ 時間延長 ★		✓ トイレに近い試験教室での受験
		✓ 別室（時間延長なし）★	✓ 別室（時間延長なし）★	✓ 別室（時間延長なし）★		✓ その他⇒特記事項に記載
音声言語障がい	器質性運動障がい性	通常受験			✓ 免除 ★	
					✓ 発話への配慮☆	
	吃音・その他	通常受験			✓ 発話への配慮☆	
特記事項						★マークがついている配慮については，「状況報告書」の添付が必要です。審査の上，配慮の適用可否を判断します。 ☆「座席配置」「発話への配慮」を希望する方は，障がいの程度と，希望する配慮等のコメントを特記事項や別紙等に記入してください。

ご記入後はコピーを取り，必ず控えを残してください

TEAP Test of English for Academic Purposes

病弱・その他

状況報告書（時間延長）

2025年7月23日（水）必着

ﾌﾘｶﾞﾅ		
氏　名		

受験番号				－				－					

記入について	○この報告書は，試験時間延長を申請するにあたり，受験者の高等学校等での学習状況や，テスト（学内試験等）の実施状況等を具体的に記入していただくもので，受験上の配慮に対する意見や要望等を記入する書類ではありません。 ▼高等学校に在籍中の受験者　⇒高等学校の担当者（学級担任等）が記入してください。 ▼高等学校等に在籍していない受験者 1. 外部教育機関（予備校等）に所属しており，配慮を受けている場合　⇒外部教育機関のカウンセラー等，支援担当者が記入してください。 2. 高等学校等で配慮を受けていた者で，申請時に外部教育機関（予備校等）に所属していない場合，外部教育機関（予備校等）で配慮を受けていない場合　⇒保護者等が，状況及び専門家等による所見を可能な範囲で記入してください。

「作成している」を選択した場合は，書類のコピーを添付いただくか，詳細を右の記入欄に記載してください。
「行っている」を選択した場合は，詳細を右の記入欄に記載してください。

1　個別の指導計画の作成	
✓ 作成している	✓ 作成していない
2　個別の教育支援計画の作成	
✓ 作成している	✓ 作成していない
3　「読み」等における配慮	
✓ 行っている	✓ 行っていない
4　「リスニング」等における配慮	
✓ 行っている	✓ 行っていない
5　「書き」等における配慮	
✓ 行っている	✓ 行っていない

詳細記入欄

（学校での対応を具体的に記入してください）

上記記載内容に相違ありません。　　記入日：　　年　　月　　日

記入者署名：　　㊞　　受験者との関係：

ご記入後はコピーを取り，必ず控えを残してください

TEAP Test of English for Academic Purposes

病弱・その他

状況報告書（別室　時間延長なし）

2025年7月23日（水）必着

ﾌﾘｶﾞﾅ		
氏　　名		

受験番号				－				－					

記入について	○この報告書は，発達障がい・病弱等の理由により別室を申請するにあたり，受験者の状況等を具体的に記入していただくもので，受験上の配慮に対する意見や要望等を記入する書類ではありません。 ○時間延長を申請する場合は，『状況報告書（時間延長）』をご利用ください。 ▼高等学校に在籍中の受験者　⇒高等学校の担当者（学級担任等）が記入してください。 ▼高等学校等に在籍していない受験者 1. 外部教育機関（予備校等）に所属しており，配慮を受けている場合　⇒外部教育機関のカウンセラー等，支援担当者が記入してください。 2. 高等学校等で配慮を受けていた者で，申請時に外部教育機関（予備校等）に所属していない場合，外部教育機関（予備校等）で配慮を受けていない場合　⇒保護者等が，状況及び専門家等による所見を可能な範囲で記入してください。

「配慮をしている」を選択した場合は，詳細を右の記入欄に記載してください。		詳細記入欄
1　授業において何か配慮を行っていますか？		（学校での対応を具体的に記入してください）
✓ 配慮をしている。	✓ 配慮をしていない。	
2　テストにおいて何か配慮を行っていますか？		
✓ 配慮をしている。	✓ 配慮をしていない。	
3　その他学校生活等において，配慮を行っていますか？		
✓ 配慮をしている。	✓ 配慮をしていない。	

上記記載内容に相違ありません。　　記入日：　　年　　月　　日

記入者署名：　　㊞　　受験者との関係：

ご記入後はコピーを取り，必ず控えを残してください

TEAP Test of English for Academic Purposes

病弱・その他

状況報告書（スピーキングテスト免除）

2025年7月23日（水）必着

ﾌﾘｶﾞﾅ		
氏　名		

受験番号				－				－					

記入について	○この報告書は，スピーキングテストの免除を申請するにあたり，受験者の高等学校等でのスピーキングの学習状況や，スピーキングテスト（学内試験等）の実施状況等を具体的に記入していただくもので，受験上の配慮に対する意見や要望等を記入する書類ではありません。 ○聴覚障がいによりスピーキング免除を申請する場合は，聴覚障がい用の状況報告書をご提出ください。 ▼高等学校に在籍中の受験者　⇒高等学校の担当者（学級担任等）が記入してください。 ▼高等学校等に在籍していない受験者 1. 外部教育機関（予備校等）に所属しており，配慮を受けている場合　⇒外部教育機関のカウンセラー等，支援担当者が記入してください。 2. 高等学校等で配慮を受けていた者で，申請時に外部教育機関（予備校等）に所属していない場合，外部教育機関（予備校等）で配慮を受けていない場合　⇒保護者等が，状況及び専門家等による所見を可能な範囲で記入してください。

スピーキングの授業についてお知らせください。		スピーキングテストについてお知らせください。		詳細記入欄
✓	授業を通常どおり受けている。	✓	テストを通常どおり受けている。	（授業またはテストで配慮を行っているとご回答いただいた場合は，学校での対応を具体的に記入してください）
✓	授業を受ける時に配慮を行っている。	✓	テストを受ける時に配慮を行っている。	
✓	学生の発話を伴う授業を免除している。	✓	学生の発話を伴うテストを免除している。	
✓	学生の発話を伴う授業が無い。	✓	学生の発話を伴うテストが無い。	

上記記載内容に相違ありません。　　記入日：　　年　　月　　日

記入者署名：　　㊞　　受験者との関係：